

モニタリング結果表

公の施設名	迫梅ノ木公園	所 管 課	生涯学習課
施設の所在	登米市迫町佐沼字梅ノ木二丁目4番地1、4、5	電 話	0220(22)8565
指定管理者	特定非営利活動法人 登米市体育協会 (代表) 会長 佐々木 猛		
指 定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日	設置条例名	登米市都市公園条例

1 利用状況

(1) 利用状況

項 目	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	備考
稼働(開館)日数	359	332	264	342	359	
利用件数	694	692	374	452	533	
内減免件数	349	366	140	217	234	
利用者数	12,184	10,839	4,740	6,575	7,784	

(2) 施設管理以外で仕様書に定める事業の実施状況(例: 公民館事業)

事業名	平成30年度 実績		令和元年度 実績		令和2年度 実績		令和3年度 実績		令和4年度 実績		備考(内容)
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	
実績はありません											

2 項目別評価

評 価 大 項 目				指定管理者 評価	所管課 評価
(総括1) 利用者の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られているか				A	A
中項目	(1) 利用者の平等な 利用の確保	小項目	①利用者に対して公平に利用機会を提供しているか	A	A
			②利用料金の減免手続きを適切に行っているか	A	
			③利用者の意見要望を把握し、適切に対応しているか	A	
			④利用者層拡大、利用者数増加の取組を行っているか	A	
	(2) サービス向上の 具体的な手法及び期 待した効果	小項目	①利用者へのサービス向上のための取組を行っているか	A	A
			②社会体育振興のための施設の機能を活用した取組を行っているか	A	
			③施設情報の提供に係る広報の取組を行っているか	A	
			④地域や関係団体との連携を行っているか	A	
指定管理者の自己評価			協定書に基づいて管理運営を行っている。年度末に新年度の主要な大会等の利用について利用希望調査を実施している。利用団体の多様化や一般団体利用の増加に伴い、利用調整を行いながら利用者の意見要望にも応じ、多くの利用者に施設を利用していただけるよう配慮している。		
施設所管課による評価			利用者の要望に応じ開館時間を拡大するなど、水準以上と評価できる項目もあるが、協定書や仕様書に基づいた利用の確保やサービスを行っていることから水準どおりと評価した。		
(総括2) 公の施設の適切な維持及び管理並びに管理に係る経費の縮減が図られているか				A	A
中項目	(1) 施設の適切な維持 管理	小項目	①設備の保守点検や清掃、警備、衛生管理、環境整備等の維持管理業務を適切に行っているか	A	A
			②個人情報保護対策は適切に行われているか	A	
			③省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進等の環境負荷低減の取組を行っているか	A	
			④施設の安全確保のための取組を行っているか	A	
			⑤損害保険等必要な保険に加入しているか	A	
	(2) 施設の管理運営 経費	小項目	①収支計画書と比較して収支状況は適正か	A	A
			②管理業務効率化・管理経費縮減の取組を行っているか	A	
			③収入確保の取組を行っているか	A	
指定管理者の自己評価			施設管理において、専門的な知識や技術を要する業務については、専門業者へ委託し、保守点検・管理を行っている。また、施設管理運営委員会を中心に施設の管理運営への提言や整備等に関わるボランティア協力により経費の節減ができ、修理修繕を要する施設・設備の整備費に充用することが可能になるなど、体協ならではの効率的な管理運営を行っている。		
施設所管課による評価			経費を削減しながら、仕様書に定めるとおり、適切に管理されていることから、水準どおりと評価した。		

評価大項目				指定管理者 評価	所管課 評価	
(総括3) 公の施設の設置目的を達成するために事業計画等に沿った管理を安定して行う能力を有しているか				A	A	
中項目	(1) 安定的な運営が可能となる組織力	小項目	①施設管理の運営に関する基本的な考え方を持っているか	A	A	
			②施設の管理運営を行うための適切な人員体制となっているか	A	A	
			③施設の管理運営に関わる従業員の労務管理は適切か、また福利厚生の充実を図っているか	A	S	
			④施設の管理運営に関わる従業員の指導育成は計画どおり行っているか	A	A	
			⑤緊急時の危機管理体制は整備されているか	A	A	
	(2) 安定的運営が可能となる経理的基盤	小項目	①団体の財務状況は健全か	A	S	
			②経理規程等が整備され、指定管理業務に係る経費が適切に管理されているか	A	S	
			③団体としての監査体制があり、適切に監査を行っているか	A	A	
	指定管理者の自己評価			利用団体や地域住民の代表からなる施設管理運営委員会と連携を取り、施設利用者と指定管理者が共通の認識を持って、より一層ニーズに合った管理運営につなげている。また、施設のある迫鉄砲丁地区と合同の防災訓練を実施しており、地域の避難所としての役割も果たしているが、今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止とした。		
	施設所管課による評価			退職金制度に加入していることや、税理士の指導を受けていることは水準以上と評価できるが、総合的には仕様書に定めるとおりであることから、水準どおりと評価した。		
(総括4) ※その他施設の設置目的を効果的に達成するために必要と認める事項						
中項目	(1) ※市が評価項目を設定していた場合、又は指定管理者が申請時に提案した内容がある場合は、この欄に記載し、評価を行う。	小項目				
	(2)	小項目				
指定管理者の自己評価						
施設所管課による評価						

3 総合評価

総合評価	指定管理者による総括自己評価		施設所管課による評価	
	評価		評価	
A		利用団体や地域住民の代表からなる「施設管理運営委員会」を実施することで、利用者の声を迅速に反映でき、効率的な施設管理を行うことができた。今年度は施設の休館の対応もなかったため、利用者には感染対策に協力いただき、利用人数についても少しずつ増加傾向にあった。	A	利用者の要望により開館時間を変更するなど、利用しやすい環境を整えたことなど水準以上と評価できるものもあるが、概ね仕様書に定めるとおりの管理体制などであることから水準どおりと評価した。